

酒田まつり
創始400年



400
2008前年祭 2009本年祭

酒田市におけるがん検診受診率向上 にむけての取り組みについて



酒田市健康福祉部健康課

酒田市の概況

- ◆ 酒田市は山形県北西部に位置し、最上川が日本海と出合う古くから拓けた港町。
- ◆ 背後には広大な庄内平野が広がり、冬の季節風は強いものの、対馬暖流の影響を受けた温暖湿潤な気候が、わが国有数の穀倉地帯を形成している。北西39キロメートルの日本海上には、山形県唯一の離島である飛島があり、秋田との県境にそびえる鳥海山とともに鳥海国定公園に指定されている。
- ◆ 平成17年11月1日、酒田市、八幡町、松山町、平田町が合併し、新「酒田市」として誕生。

【平成21年4月30日現在 住民基本台帳】

- ・面積 602km²
- ・人口 113,780人
- ・世帯数 41,441世帯
- ・高齢化率 28.0%



2

市の健(検)診実施状況 1 平成20年

1. 健(検)診実施機関

(1) 集団健診・集団がん検診

委託→ 山形県結核成人病予防協会庄内検診センター

(2) 個別健診・個別子宮がん乳がん検診

委託→ 酒田地区医師会所属の医療機関

平成19年度までは
基本健診として実施。
対象者は40歳以上の方。
(職場の健診を受けない方)

2. 健(検)診項目

(1) 特定健診 40～74歳の国民健康保険加入者対象

社会保険の被扶養者は受診券が発行された方

高齢者健診 75歳以上対象

- ・集団：126回(健康センター・検診センター・公民館・コミセン等会場)
他に5～12月 第1・3土曜日午後12時に庄内検診センターで実施
- ・個別：65歳以上対象 4～2月 / 64医療機関

(2) 人間ドック(各がん検診併設) 40歳以上対象

但し、40～74歳は国民健康保険加入者

- ・集団：84回(庄内検診センター会場)
- ・病院(個別)：4～2月 / 3医療機関

3

市の健(検)診実施状況 2 平成20年

(3) がん単独検診 40歳以上対象

但し、子宮は20歳以上 乳は30歳以上対象

- ・集団：胃 124回 大腸 126回
肺 126回 前立腺 126回

集団健診に併設

他に① 第1・3土曜日午後12時に庄内検診センターで肺・大腸がん検診を実施

② 65歳以上の個別特定・高齢者健診受診者に対し
毎週水曜日午後12時に庄内検診センターで肺・大腸がん検診を実施

子宮 49回 乳 49回

- ・個別：子宮 4～2月 / 12医療機関
乳 4～2月 / 21医療機関

(4) アンダー40健診(若年者検診) 16～39歳対象

集団：男性 4回

女性 9回 → 子宮・乳がん検診併設

4

市の健(検)診料金 平成20年

3. 健(検)診料金

(1) 特定健診 集団1,200円 個別1,800円
 高齢者健診 無料

(2) 人間ドック 40~74歳 / 男性 3,400円以内 女性 4,100円以内
 75歳以上 / 男性10,200円以内 女性11,900円以内

(3) がん単独検診

胃 1,000円 大腸 500円 肺 無料 たん検査 1,000円
 前立腺 700円

子宮 / 集団 1,000円 個別 1,500円

乳 / 集団 30歳代 500円 40歳以上 1,400円

個別 30歳代 600円 40歳以上 マンモ同時併用方式 1,400円
 マンモ分離併用方式 1,500円

(4) アンダー40健診(若年者検診) 1,800円

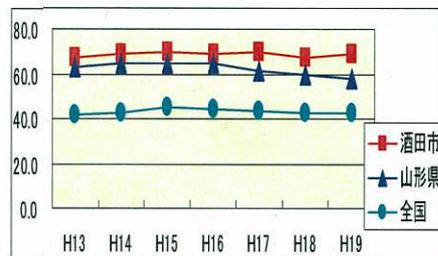
※生活保護世帯のみ健(検)診料金は無料

5

基本健診・肺がん検診受診率の推移

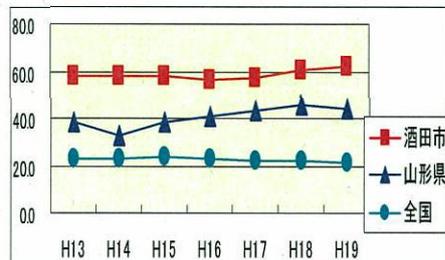
基本健診 単位 %

年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	67.1	62.9	41.8
H14	68.8	64.8	42.6
H15	69.6	65.0	44.8
H16	68.6	64.9	44.4
H17	69.5	61.3	43.8
H18	67.4	59.2	42.4
H19	69.0	58.0	42.6



肺がん検診 単位 %

年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	57.8	38.2	22.8
H14	57.7	32.3	22.8
H15	57.7	38.1	23.7
H16	56.7	40.6	23.2
H17	57.5	43.6	22.3
H18	60.7	46.0	22.4
H19	62.3	44.1	21.6



市県: 健康診査成績表 国: 老人保健事業報告より

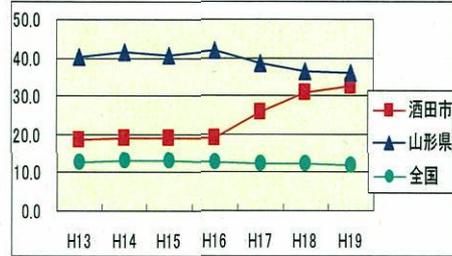
6

胃がん・大腸がん受診率推移

胃がん検診

単位 %

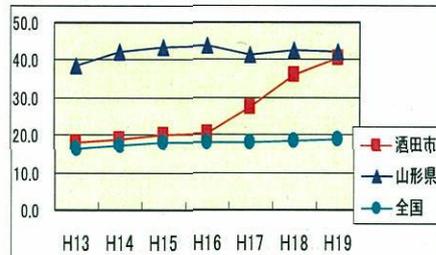
年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	18.5	40.1	12.9
H14	18.9	41.7	13.0
H15	18.9	40.8	13.3
H16	19.0	41.8	12.9
H17	26.0	38.7	12.4
H18	30.9	36.6	12.1
H19	32.6	36.0	11.8



大腸がん検診

単位 %

年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	18.1	38.6	16.5
H14	19.0	42.2	17.1
H15	20.0	43.6	18.1
H16	20.4	44.0	17.9
H17	27.6	41.3	18.1
H18	36.0	42.5	18.6
H19	40.5	42.2	18.8



市県:健康診査成績表 国:老人保健事業報告より

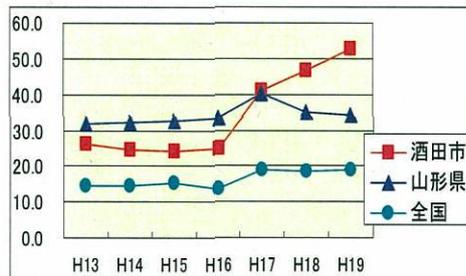
7

子宮がん・乳がん受診率推移

子宮がん検診

単位 %

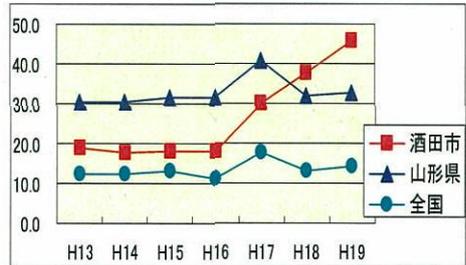
年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	26.1	32.0	14.6
H14	24.7	32.4	14.6
H15	24.1	32.8	15.3
H16	25.0	33.5	13.6
H17※	41.0	40.1	18.9
H18※	46.8	35.1	18.6
H19※	52.6	34.2	18.8



乳がん検診

単位 %

年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	18.8	30.2	12.3
H14	17.6	30.4	12.4
H15	18.1	31.6	12.9
H16	17.9	31.4	11.3
H17※	30.0	40.6	17.6
H18※	37.8	31.9	12.9
H19※	45.6	32.8	14.2



市県:健康診査成績表 国:老人保健事業報告より

※(前年度受診者+当該年度受診者-前年度と当該年度2カ年連続受診者)/当該年度対象者×100

8

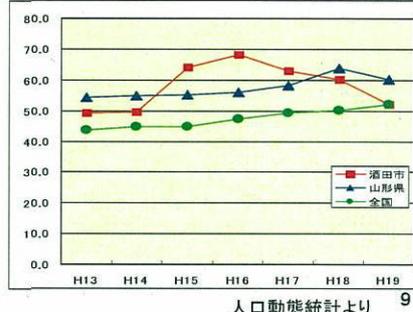
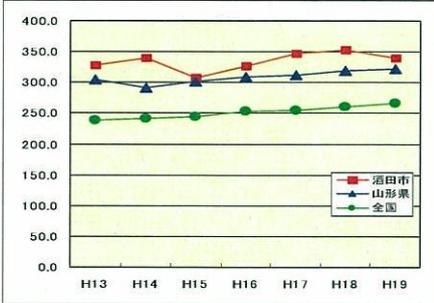
全がん・肺がん死亡率(粗死亡率)の推移

全がん 対10万比

年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	328.0	304.5	238.8
H14	340.5	291.1	241.7
H15	308.1	301.4	245.4
H16	327.4	309.1	253.9
H17	347.0	312.0	255.1
H18	353.4	319.5	261.0
H19	340.5	322.6	266.9

肺がん 対10万比

年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	49.2	54.4	43.7
H14	49.6	54.9	44.8
H15	64.0	55.3	45.0
H16	68.3	55.9	47.5
H17	62.9	58.3	49.2
H18	60.2	63.7	50.1
H19	52.1	60.2	52.0



人口動態統計より 9

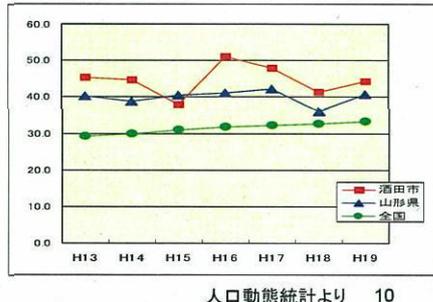
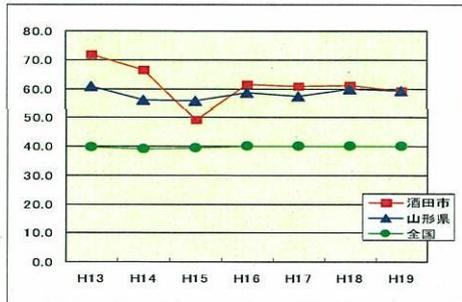
胃がん・大腸がん死亡率(粗死亡率)の推移

胃がん 対10万比

年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	71.9	60.8	39.7
H14	66.5	56.1	39.1
H15	49.0	55.9	39.3
H16	61.3	58.7	40.1
H17	60.7	57.3	39.9
H18	61.0	59.9	40.0
H19	59.1	59.1	40.1

大腸がん 対10万比

年度・地区	酒田市	山形県	全国
H13	45.3	40.2	29.3
H14	44.7	38.8	29.9
H15	38.0	40.4	30.9
H16	51.2	41.2	31.8
H17	47.9	42.1	32.3
H18	41.3	36.0	32.6
H19	44.3	40.7	33.2



人口動態統計より 10

山形県での取り組み(H16~17年)

山形県・・・①がん死亡率が全国でも高値 特に胃がん

②がん受診率は県全体では高いが市町村によってバラつきが
みられる

H15年度胃がん検診 県40.8%

高値市町村90%台 低値市町村18%台

→県の取り組みとして「がん検診一次検診受診率向上事業」を展開

■市町村が実施している一次検診の実態把握調査を実施

→調査結果

- ・受診率高値の市町村は、各世帯に検診申込用紙を配布し回収
- ・受診率低値の市町村は広報等を見て、電話で担当課へ申込



各医師会・保健所での老人保健事業評価検討会
で検討される

11

当時の酒田市の現状と課題 1

◆ 平成15年 胃がん検診受診率18.9% →県下最低
大腸がん検診受診率20% →ワースト2

共に全国平均よりは若干上回っているが県平均(胃40.8%
大腸43.6%)を大きく下回っている。伸び率も鈍化している。

基本健診の受診率69.6%で、県平均65.0%を上回り、市民の健康、
検診へ関心は、決して低くない。

→ 基本健診併設なのにがん検診への受診へ結びつかない
がん検診に対し 無関心？ 面倒？ 恐怖心？

◆ がん死亡率(308.1/対10万比)が全国(245.4)、県(301.4)と
比べて高値。特に過年度推移より胃・大腸がんが突出している。

→ 胃がん・大腸がん検診の受診率を上げることが
最大の課題

12

当時の酒田市の現状と課題 2

胃がん・大腸がん検診の受診率を上げるために
山形県・県がんセンター・地区医師会より
がん検診受診率向上の具体的対策を提言された

・酒田市の場合、検診案内・申し込み方法が原因ではないか？

【平成15年度当初の申込方法】
対象者に案内はがきを送付
回覧(一部地域)と電話での申込

・「受診率の高い市町村では全世帯に申込書を郵送し、郵送で
返信をしてもらっている」と提言あり、市とも協議を重ねた

13

酒田市がん検診受診率の目標

	第3次高齢者保健福祉計画 (目標20年度)			16年度 県平均
	18年度	19年度	20年度	
胃がん検診	30%	37%	45%	41.8% ①
大腸がん検診	30%	37%	45%	44.0% ①
子宮がん検診	27%	31%	35%	33.5% ①
乳がん検診	23%	29%	35%	31.4% ①
肺がん検診	61%	63%	65%	40.6% ②

目標の考え方

- ・ ①県平均以下のものは平均を上回る水準へ(胃がん、大腸がん)
- ・ ②県平均以上にあるものはさらに1割程度の加算へ

14

胃がん・大腸がん検診受診率向上対策

1. 保健事業における啓発活動の強化
→ 平成16年度より開始
2. 検診案内・申し込み方法の改善
→ 平成17年度補正予算
平成18年度分の申し込みより開始
3. がん検診は、人間ドックでの受診比率が高いことより、
人間ドック受診者の増加を図る
→ 平成18年度より人間ドック拡大



**県・地区医師会・委託検診センターとの
協力が必要**

15

対策1. 保健事業における啓発活動の強化

★平成16年度の主な取り組み

1. 市民公開講座の開催 平成16年12月5日(日)
「おかねぐねよ 胃がん大腸がん」
～みんなでうげましょで がん検診～
入場者425名
2. 各地区がん予防教室
講師:地区医師会消化器部会医師
17地区 560人参加
3. 市広報掲載、地元FMラジオにて受診勧奨
4. 電話申込の際は、がん検診受診を勧める

16

対策2. 検診案内・申し込み方法の改善

★案内、受付方法の変更

- ・案内はがき送付、電話による申込方式



- ・平成18年度実施分より（平成18年1月全戸発送）
案内・申込・勧奨一体型の申込書による受付方式

【メリット】

- ・申込書(状況調査)により、市の健診を受診する者、職場で受診する者、医療を受けている者、個人で検診を受けた者などを把握できる。
- ・集団基本健診受診者を事前に把握し、がん検診を同時受診しない人に対する受診勧奨を行なうことができる。
(集団基本健診の受診者12,000人をがん検診の受診へ取り込んでいく)
- ・住民の検診への関心を高める

17

申込書(検診状況調査)方式の実施内容

- ・ 申込書(検診状況調査)は別紙のとおり
 - ・ 世帯ごと
- ・ 全世帯(16歳以上のいる)へ1月郵送
 - ・ 若年者健診も含む
 - ・ プライバシー保護のため郵送
- ・ 返信(申込み)も郵送
 - ・ 郵送負担は市で
- ・ 申込には、検診決定通知(はがき)を郵送
 - ・ 集団健診と集団人間ドックのみ
 - ・ 個別健診と病院ドックについては、送付しない
- ・ 電話による申込みも併用
- ・ 申込状況は電算処理システムにて管理

平成17年度 補正予算獲得
約41,000世帯分
申し込み書送付
返信用郵券
健診日程通知書 } ≒900万円

18

各種検診申込及び受診状況調査票 以下「申込書という」

平成18年度酒田市各種検診申込及び受診状況調査

電話番号

不明な部分があった場合に問い合わせ先を記載し、番号訂正の場を正しくしてください。

太線で囲まれた部分の の中に、下記の①～⑥番号のどれかを記入してください。

- ① 市の健(検)診を受ける
- ② 医療機関で健(検)診を受ける
- ③ 医療機関で治療中
- ④ 病院や施設に入院・入所中
- ⑤ 定期的検査を受けている
- ⑥ 寝たきり等で受けられない

▶ 1日人間ドック申込の方は、以下記入不要

は受けること

家 CD	氏 名	年齢	1日人間ドック	基本健診	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診 (胸部レントゲン)	乳がん検診	子宮がん
記入例	酒田 太郎	54 歳	①					***	**
0001234567									
記入例	酒田 花子	53 歳		③	①	①	③	②	②
0001234589									

19

申込書回収率と申込数

申込書回収数

◆4月現在

	H18	H19	H20
送付数	97,122	98,543	97,852
回収数	65,259	65,622	65,315
回収率	67.2%	66.6%	66.7%

各がん検診の申込数と受診者数・率

	H18年		H19年		H20年	
	申込者数	受診者数	申込者数	受診者数	申込者数	受診者数
胃がん検診	11,314	9,339 82.5%	12,337	9,699 78.6%	13,967	9,137 65.4%
大腸がん検診	11,642	10,894 93.6%	13,193	12,052 91.4%	14,841	11,323 76.3%
肺がん検診	18,100	18,352 101.4%	18,416	18,532 100.6%	19,665	16,102 81.9%
乳がん検診	12,553	6,106 48.6%	16,189	6,970 43.1%	15,213	6,994 46%
子宮がん検診	15,573	7,401 47.5%	17,726	8,090 45.6%	16,061	7,976 49.7%

※受診者数には電話申込者や当日申込者も含む

20

対策3.人間ドック受診者を増やす

★検診医療機関、受入れ数の拡大

平成18年度より

・委託検診センターでの受け入れを拡大

定員 45名 → 85名(内、女性45名まで可)

日数 52日(H17度) → 84日



受診者数 4,147名 → 5,542名 増加
(H17度)

21

その他の方法で

事例 A地区で

集団健診において、基本健診を受診するすべての者へ、大腸がん検診の検査キットを送付した。

(これまでは、大腸がん検診を申込者のみに送付。)



受診者数が29人 → 57人

！ もしかすると、こんなちょっとしたことが受診者数を増やす方法なのかもしれません。

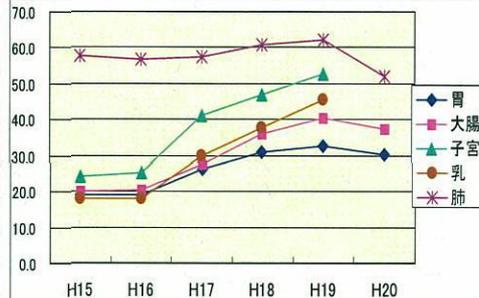
22

対策実施後(H16年以降)のがん検診受診率の推移

各がん検診受診率

単位 %

年度・項目	胃	大腸	子宮	乳	肺
H14	18.9	19.0	24.7	17.6	57.7
H15	18.9	20.0	24.1	18.1	57.7
H16	19.0	20.4	25.0	17.9	56.7
H17	26.0	27.6	41.0	30.0	57.5
H18	30.9	36.0	46.8	37.8	60.7
H19	32.6	40.5	52.6	45.6	62.3
H20※	30.2	37.3			51.9



※H20は概算

胃・大腸がん検診 受診者数と対象者数

単位 人

		H16	H17	H18	H19	H20
胃	受診者数	4,847	7,863	9,339	9,699	9,137
	対象者数	25,499	30,222	30,240	29,754	30,300
大腸	受診者数	5,211	8,435	10,894	12,052	11,323
	対象者数	25,499	30,554	30,240	29,754	30,348

H17年以降、全がん検診の受診者数、受診率は上昇した。H17年は合併(1市3町)の影響も考えられるが、H18年以降も順調に上昇し、第3次高齢者福祉計画のH18年目標値をクリアした。

しかしH20年は申込者は増加したが、特定健診(原則、国保加入者のみ)の影響を受け、同時に受診可能な胃・大腸・肺がん検診(医療保険を問わず40歳以上)の受診率は低下した。特に肺がん検診受診率は10%低下した。

23

平成20年度 がん検診受診率向上の取り組み

◆市全域での啓発活動

- ①健康教室を実施し、がん予防やがん検診受診を呼びかける
- ②市広報掲載、地元FMラジオにて受診の勧奨を行う
- ③電話や来所申込の際は積極的にがん検診受診を勧める
(特に社会保険加入者に対する受診勧奨)
- ④がん講演会・市民公開講座(現在は地域がん診療連携拠点病院が主催)を地区医師会と協力し、継続させる

◆人間ドックの拡大

委託検診センターの協力を得て、特定健診・人間ドック申込者で未受診の方に対し案内を送付し、11日間人間ドックを拡大し勧奨を行う

24

健康寿命延伸の実現に向けて:平成21年度の取り組み

今まで実施していた対策継続の他に

1. 地域における健康づくり・疾病予防の取り組み

- ・地域の健康課題について、**地域へ情報をフィードバック**していくことが必要。
→地区医師会と協力し、がん検診受診率の低い地域へのアプローチを検討。

2. 地域・職域連携の必要性

- ・市全体の健康増進、疾病予防の効果をあげるには、**職域検診の検診状況(受診率や検診項目)の把握など一体的な取り組み**が求められる。
→がん検診受診率向上を目的とした新しい受診システムの構築に向け、保健所にて「**がん検診受診率向上の研究会**」を立ち上げ予定。
- ・**保健所・市町・検診機関・産業保健関係者等の関係団体と協議**し、受診状況調査による分析・検証を実施し、受診率向上の方策を検討する。

27

小さな変化でも、それが及ぼす影響は、考えていたよりも大きくなることがある。

Fin

28